

小山市市民活動センターは、地域の課題に対して考え、テーマや課題ごとに協働につながる交流の場やプロジェクトのためのネットワークづくりを行っています。
NPO やボランティア団体、社会福祉協議会、行政、関心のある個人や学生などと連携し、市民で取り組むネットワークを模索しながら拡げていきます。
ご興味のある方は、ぜひお気軽にご参加ください！

プロジェクト活動中！

1人ではできないことも、
情報を共有し、アイデアを出し合い
みんなで課題解決に取り組める！

災害支援

災害支援ネットワーク「おやま防災」

個人または団体で登録し、ボランティアとして小山市内外の災害支援活動に協力していただくネットワークです。

災害・防災について学ぶ

災害支援活動に参加する



こどもの育ちを支える「たまりば」ネットワーク

こども

既存の施設や仕組みにとらわれず地域の人が気軽に設置実践できる多様なこどもの居場所を拡げるための集まりです。

こどもと地域をつなぐイベント

たまりばトーク（実践者との交流）

たまりばマップ作成



傾聴

小山市傾聴ボランティア協議会

傾聴スキルを学び、傾聴を1人でも多くの人に広げめるため活動をしています

おしゃべりダイヤル（電話傾聴）

傾聴ルームおやま（対面傾聴）

傾聴ボランティア入門講座



デジタル

PC サポートーズ

パソコン教室を開催しているボランティア団体が一緒に、初心者向け、自治会向け市民活動向けに役立つ講座を開催。

PC 基礎講座・資料作成講座

スマホ de 交流会

小山市市民活動センター

おやま〜る

開館時間 9:00～21:00

相談対応 9:00～17:15（予約推奨）

休館日 年末年始（12/29～1/3）

TEL/FAX 0285-20-5562

E-mail info@oyamaru.net

〒323-0025

栃木県小山市城山町 3-7-5

城山・サクラ・コモンビル 2 階（駅西口徒歩 5 分）

指定管理団体 一般社団法人カゼトツチ



※お車はなるべく市役所の駐車場に停めて歩いてお越しください。北側にある駐車場は、ご高齢の方や妊婦、幼児連れの方、障害のある方、大きな荷物等のある方を優先させていただきます。

※施設利用に関係のない無断駐車は禁止しています。

おやまの人と市民活動を結ぶ

おやま〜る

小山市市民活動センター

2025
秋号
Vol.3

おやま〜る Topics

・11月～1月の事業のお知らせ

みんなの市民活動ひろば

・カンガルー OYAMA

・Code for OYAMA

プロジェクト活動中！

・ネットワーク参加者募集



小山市に居場所
を開設！

特例認定 NPO法人 そらいろコアラ

レポート記事



栃木県を拠点に妊娠・育児期の家庭を支える「そらいろコアラ」は、2025年10月、小山市に妊産婦が安心して過ごせる“居場所”を開設しました。9月には生涯学習センターで開設記念講演会が開かれました。真岡市に続く県内2カ所目の拠点で、「困る前からつながる支援」を掲げ、地域と手を携えて子育てで家庭の孤立を防ぐ取り組みです。地域で子育てするため、一緒に活動するボランティアやご寄付のご協力も募集中！

11月は「児童虐待防止月間」

11月は、「児童虐待防止月間」としてオレンジリボンキャンペーンなど啓発活動が実施されます。困難を抱えた子どもたちとその家族を地域で応援する小山のNPOの活動を紹介します。

NPO 法人子どもの育ちを支える会さくらネット小山

虐待・貧困・不登校・障害・外国籍など、さまざまな困難を抱える子どもたちとその家庭の支援を行っています。



子どもの居場所「おひさま」、自立援助ホーム「さくらの家」、学習支援「おひさま教室」、相談事業、ショートステイ、相談窓口など。

カンガルー OYAMA

2004年の小山兄弟虐待死事件を契機に設立された市民団体で、「オレンジリボンキャンペーン運動」の始まりの団体です。

オレンジリボンを作成し、イベントでの啓発活動を行っています。（中ページでは、団体紹介を掲載しています）

NPO 法人ビリーブ

家庭で十分な養育を受けにくい子どもに対して、安心安全な場を保障する放課後の居場所を運営。

子どもの居場所「シリウス」（食事、勉強、遊び、入浴など）（学生サポーターも募集中です。）

特例認定NPO法人そらいろコアラ

安心して子どもを産み育てられる社会づくりを目指して、福祉的側面から包括的な支援をしている。



居場所づくり、子ども食堂、LINE相談「コアLINE」、コアラモデルの実証など。

おやま〜る Topics

2025 年 11 月～1 月

テーマにそった交流

まちひとみらいラボ 2025 vol.2

12/2 火
19:00 ～ 21:00



小山市で地域や SDGs に取り組む実践者たちの話を聞き、交流！

ゲスト | 町田 親政さん
(とちぎボランティア団体 YAMBE)
石塚あやさん
(一般社団法人ココサポ)

参加費 | 無料

スマホ de 交流

2/7 土
10:00 ～ 12:00



スマートフォンの使い方を大学生と交流しながら学んでみませんか？

定 員 | 15 名程度
参加費 | 無料
持ち物 | スマートフォン
共 催 | PC サポートーズ
地域協力ボランティア同好会 UN-UNI

NPO スキルアップ

NPO のための税務会計・相談会

11/11 火
13:00 ～ 16:00



NPO 運営の税金や決算などのお困りにお答えします。

定 員 | 3 団体
(事前予約制・50 分 / 団体)
参加費 | 無料
税理士 | 安納宏和さん
(安納宏和会計事務所)

もっと伝わる！チラシ作り講座
【講座編】チラシを学ぼう！

12/15 月
13:30 ～ 15:30



チラシ作成のポイントを学んで、募集チラシに活かしてみませんか？

定 員 | 30 名程度
参加費 | 無料
持ち物 | 自分が作成したチラシ
講 師 | 元広報担当
共 催 | 小山市社会福祉協議会

もっと伝わる！チラシ作り講座
【実践編】Canva を学ぼう！

12/22 月 or 23 火
13:30 ～ 15:30



デザイン作成ツール「Canva」でチラシを作成する実践編です。

定 員 | 15 名程度
参加費 | 無料
持ち物 | パソコン
※登録時にメールアドレス必要
講 師 | 服部花菜

第 5 回 小山地区定住自立圏協働事業～ひろがる つながる 市民活動交流会～

第 1 部 基調講演

NPO の現状や市民活動が協働するための目的とアプローチについてお話いただきます。

講 師 | 土橋 優平氏さん
(NPO 法人キーデザイン 代表理事)

第 2 部 テーマ事例発表&グループワーク

各テーマの事例発表のあと、関心のあるテーマに沿って参加者同士で話し合います。

テーマ事例発表団体 |
伝統文化・子育て関係・環境系



小山地区定住自立圏の 3 市 1 町（小山市、下野市、野木町、茨城県結城市）の市民活動団体の相互交流・連携を強化するとともに、圏域内の市民活動を活性化することを目的とした定住自立圏協働事業を実施しています。

1/24 土 9:30 ～ 12:00



会 場 | 小山市役所 6 階 大会議室（小山市中央町 1-1-1）

※庁舎西側の夜間・休日入口よりお入りください

募集対象 | 小山地区定住自立圏内の市民活動団体または、ボランティアに関心のある方
※お住まいの地域に関係なくご参加いただけます。

参加費 | 無料

申込み方法 | おやま〜る HP の申し込みフォーム、
もしくは、各市町の担当部署へ直接お申込みください。

締め切り | 1/13（火）

主催・問い合わせ |

(小山市) 小山市市民生活安心課 0285-22-9287

小山市市民活動センター 0285-20-5562

(下野市) 下野市役所市民協働推進課 0285-32-8887

(野木町) 野木町役場生活環境課 0280-57-4154

(結城市) 結城市役所まちづくり協働課 0296-54-7008

pick up!

みんなの市民活動ひろば

小山市を中心に活動している市民活動団体の取り組みをご紹介します！

ぜひ、情報をチェックしてみてください！

こども

カンガルー OYAMA

11 月まで、おやま〜る
窓口では、オレンジリ
ボン作成コーナー設置
中です！

カンガルー OYAMA は、2004 年に小山市で起きた悲しい児童虐待事件を二度と繰り返さないために、市民有志で立ち上げられた団体です。事件をきっかけに「児童虐待防止大作戦」の講座が市内で開催され、受講した仲間が中心となり活動が始まりました。児童虐待という暗いイメージに対する啓発をどのようにしたらよいか。試行錯誤して誕生したオレンジ



リボンは、「子どもたちの幸せを願う色」として選ばれたシンボルマークであり、今では全国へと広がっています。小さな胸元のリボ

ンには、「子育てを一人で抱え込まないでほしい」「子育ての立場を理解して地域全体で子どもを守ろう」という思いが込められています。

活動は、毎年 11 月の「児童虐待防止推進月間」に合わせた市役所ロビーでの展示や公共施設・保育所等へのパンフレット配布、



啓発コーナーを設置などです。横浜で行われる「子ども虐待防止オレンジリボンたすきリレー」にも参加し、全国の仲間と虐待防止のメッセージを拡げています。

発足から 21 年。草の根の小さな活動ですが、一つひとつ心を込めて手作りしたリボンを届けながら、地域で子どもを見守る大切さを伝え続けてきました。目指すのは、誰もが安心して子育てできる社会、そして子どもが笑顔で成長できる地域です。

現在、カンガルー OYAMA では一緒に活動する仲間を募集中。リボン作りやイベントの手伝い等、ほんの小さな協力でも大歓迎です。(会長 大久保 幸子さん)

シビックテック

Code for OYAMA

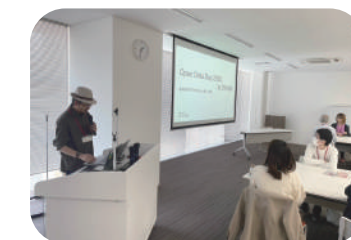
”地域の課題に向き合い、テクノロジーを使ってアイデアをカタチにする”。Code for OYAMA は、小山市を拠点に市民の想いとエンジニア技術を活用して地域社会の課題を解決することを目指すシビックテック団体です。シビックテックとは、「市民 (Civic)」と「技術 (Technology)」を掛け合わせた言葉で、地域の課題をテクノロジーの力で解決しようという取り組みです。



メンバーは、自分のスキルを社会に役立てたいエンジニアや、エンジニアスキルは持ち合わせていないがコミュニケーションを通して支援したいと思う市

・定例会：第 3 火曜日（19:30 ～ 21:00）
地域の課題をぜひ、お聞かせください！
活動するメンバーも募集中です！

Web サイト



民で構成されています。市民の想いとテクノロジーをかけ合わせることで、地域課題を解決するプロセスを簡略化していきたいと思っています。

主な活動は、暮らしを便利にするためにオープンデータを活用したプロジェクト開発です。これまで AED の場所、おーバス停留所などをマッピングしました。活動を共有する定例会を月 1 回開催するほか、各々が自分の作業を行う「もくもく会」、IT イベントのサポートも行っています。

今後、エンジニアのスキルと地域課題のマッチングを実現させるためにも沢山課題が欲しいそうです。地域課題の解決の手伝いがしたいけど、スキルがない方など、ぜひお問い合わせください！（代表 川澄 哲久さん）